

経営比較分析表（令和2年度決算）

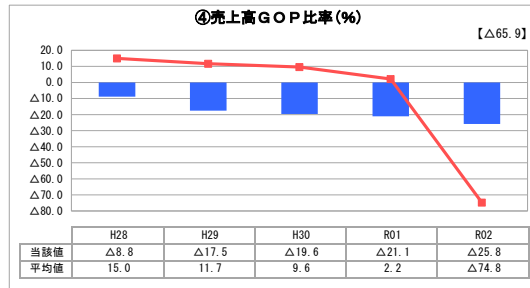
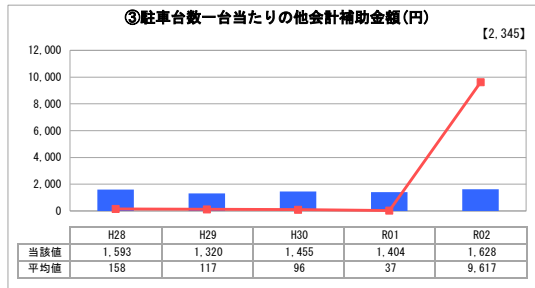
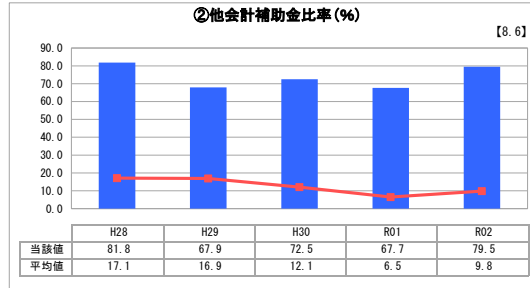
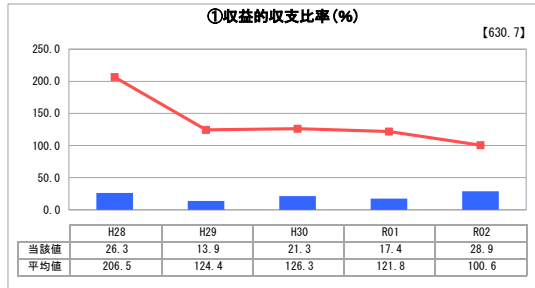
神奈川県相模原市 小田急相模原駅自動車駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A2B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	地下式	14	

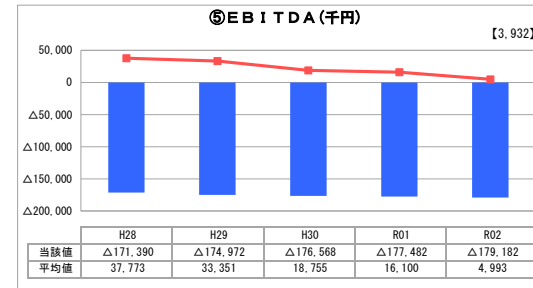
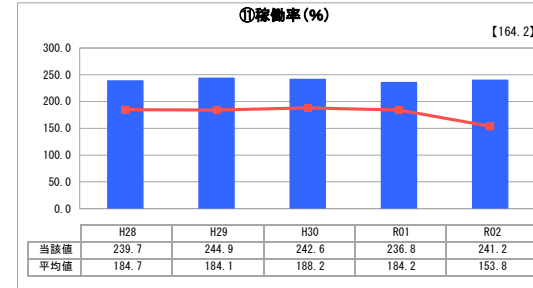
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	有	7,586
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
136	300	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について
 本駐車場は、通行量が多い地区で円滑な道路交通を確保するため、平成19年12月より供用開始しました。
 駐車場の料金収入等で支出をどの程度賄えているかを示す収益的収支比率(%)は赤字となっており、償還が終了する令和9年度までこの状況が続くことが見込まれます。
 また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により駐車料収入が大幅に減少したため、補助金比率は上がっています。

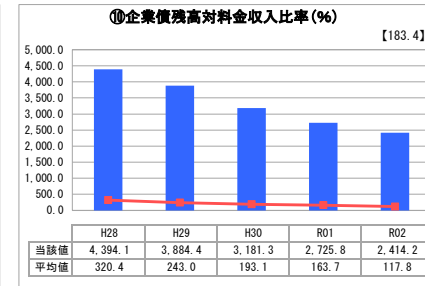
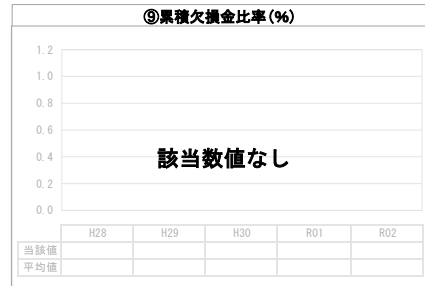
2. 資産等の状況について
 駐車場建設費の償還は令和9年に完了する予定です。商業施設との複合施設のため、管理組合が令和4年度から5年度にかけて大規模修繕を実施する予定です。今後、管理組合で行う修繕費と施設内設備投資を見込む必要があります。

3. 利用の状況について
 令和2年度の駐車料収入は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い減少したものの、定期駐車車の割合を増加させたため、稼働率は前年度と比較して微増しています。

2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)	0
⑧設備投資見込額(千円)	0



全体総括
 市の開発に伴い設置した駐車場で、市施設・商業施設・住宅がある複合建築物の地下部分を占めていることから、今後も駐車場として存続させる必要があると考えています。ただし、収益的収支比率が非常に低いことを鑑み、運営方法等については検討をしていきます。